
とある道具屋の日記

みりん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とある道具屋の日記

【コード】

N7995M

【作者名】

みりん

【あらすじ】

辺鄙な村の道具屋が、どつやら日記を書き始めたらしい。

性格があまりよろしくない道具屋は一体いつまで続けられるのか。

日記形式で話が進みます。

とある道具屋の日記 1 (前書き)

一週間は7日、曜日は日、土、一日は24時間、一時間は60分、1分は60秒…。

基本的に暦とかそういうのは同じです。ただ剣と魔法のあるファンタジックな世界です。

とある道具屋の日記 1

1月1日 晴れ

今日から日記をつけることにする。理由はない。意味もない。あえていうなら、暇つぶしである。

とりあえず、三日坊主にならないよう頑張る。無理かもしれない。

1月5日 晴れ

さっそく放置していた。自分でも驚いている。

三日坊主とかそういうレベルではない。

1月6日 晴れ

突然だが、俺は道具屋をしている。雑貨屋といってもいいかもしれない。

売っているものは、薬や縄や松明などの道具である。その名の通りだ。

客は主に村人だ。薬屋なんかがこの村にはないので、俺のところ買いに来るのだ。うはうはである。

極稀に旅人が来ることもある。ただアイツらは、隣のカウンターで営業している武器屋が目的なのであまり道具を買ってくれない。

武器よりも薬を買えよ。道具を買えよ。

思わず叫ぶところだった、今日の午後。夜が楽しみである。

1月7日 雨

今日は雨だったのですぐに店を閉めた。営業時間は今年度最短の10分だ。

そういえば、昨日この村に来た旅人が、宿屋で財布を無くしたらしい。

この町も物騒になったものだ。戸締りには気をつけることにする。

1月28日 曇り

特に書くことがなかったので放置していた。平和なり。

2月14日 雨

村の女の子から花をもらった。城下街などでは、今日、異性に贈り物をする習慣があるらしい。

花は花瓶に入れ、カウンターに飾ることにする。華やかだ。

2月28日 晴れ

今日は久々に外の人間が来た。

踊り子をやっているらしく、今日の夜、酒場で踊るとのこと。見に行くつもりだ。

3月3日 晴れ

外に道具の仕入れに行ったら、魔物に襲われた。

別段強い奴はいなかったので特に怪我はない。が、アイツの臭いがとれない。

どうしたもんか。

3月5日 晴れ

ようやく臭いがとれた。

アイツの臭いは本当にヤバイ。この二日間、全員に避けられた。泣くかと思った。

3月14日 晴れ

今日は2月14日に贈り物をくれた人にお返しをする日らしい。何をあげればいいのかわからなかったので、とりあえず薬をあげることにする。

風邪薬である。

追記

ぶんなぐられた。

3月25日 曇り

あの日からずっと家に籠っていた。久々に店を開ける。なのに曇りとかありえないだろ。またしばらく籠ることにする。

4月1日 晴れ

「いい加減に店を開ける」と武器屋に怒鳴られたので店を開けることにした。

あのジジイ、声と体のデカさは一丁前だからな。殴られたらたまんねえ。死ぬ。

クソツ、痔になっちまえ。

4月2日 晴れ

どうやら、一昨日から冒険者一行が村に滞在しているらしい。

かなりレベルの高い美少女がいるらしく、男共は皆鼻の下をのばしていた。

男3人女2人らしいが、男の方もかなりの美形だとか。どんなパーティーだ。

4月3日 晴れ

本日判明したが、あの武器屋の野郎が怒鳴りこんできたのは美男美女パーティーのせいらしい。

「道具を買いたいけど道具屋が閉まっているので困っている」といったような事を美少女Aが武器屋に愚痴ったらしいのだ。

近所のガキどもが言っていたのでまず間違いないだろう。あいつらは俺を慕ってくれているからな。

さて、ということは俺のひきこもりライフを邪魔した原因はその美少女Aということだ。

しばらく滞在するらしいので、これからが楽しみである。

4月4日 曇り

今日、店に例の美形パーティーが来た。噂通り、かなりの美形っぷりだったが、まあ俺は特に興味はないのでどうでもいい。

とりあえず、道具の値段を普段の3割増しで売ってやった。

ざまあ。

4月5日 曇り

今日は洞窟に薬の材料を取りに行った。

明日ぐらいに、雨が降りそうだ。

4月6日 雨

今日は雨だ。今年に入って一番の大雨と言っていいくらいの雨だ。湿気ハンパない。

近くの川が氾濫しないか心配だ。とりあえず、道具は全部避難させておく。

4月10日 曇り

あの日から雨は三日ほど降り続き、ようやく雨以外の天気になった。

近くの川は予想通り氾濫し、危うく村が水没するところだった。殺す気が。

まあ、なんとか雨も止み、村も浸水はしたが水没とまではいかなかったのでセーフだろう。

道具もすべて無事だ。よかった。

そういえば、宿屋は美形共の荷物がびしょ濡れらしい。

ざまあ。

4月11日 曇りのち晴れ

あの美形共はいつたいいつまで滞在する気なのだろうか。

もう二週間近い。こんな辺鄙な村に大した魅力はないだろうに…

…。

4月13日 晴れ

あの美形共は洞窟の攻略が終わるまでいるらしい。カモすぎるだろ。

あの洞窟は地下3階地上5階となかなか素晴らしいつくりをしている。

もはや洞窟レベルではない気もする。

しかも、魔物のレベルが、一階から下に行くごとに10つつ、上に行くごとに15つつ上がるといふ笑えない事になっている。

ちなみに、最上階のボスレベルは110だ。笑えない。

たしか魔物の最高レベルが250だったか？ で、人は225？

この洞窟の主はいったい何もんだ。

そんな洞窟を攻略するとかぬかしているアイツらは何なんだろうな。アホか。

4月14日 晴れ

美形共は地下の攻略をすましたらしい。

一階の魔物レベル平均は25。ということは55レベルの魔物相手に奮闘したのか。お疲れすぎる。

明日からは上の階を攻略しはじめるということなので、おそらく道具を買い込むだろう。

くくく……高く売ってやんよ！

4月15日 晴れ

昨日は懐がかなり暖かくなった。人間って素晴らしい。

ただ、薬が空になったので薬を作らねばならない。

……洞窟、行きたくないな。

美形共とブッキングしたらどうすれば……！

追記

フラグたてたせいなのか……？

4月16日 晴れ

そういえば、このごろかなりマメに日記をつけている気がする。
読み返してみると、以前の俺が嘘みたいだ。
ただ、内容のほとんどが、美形共についてなのには、へこんだ。

4月17日 晴れ

ついに美形共は、3階までを制覇したらしい。
大体70くらいのも物をぶっ殺……。おそろしや。

4月18日 曇り

書くことがない。どうしろと。

4月23日 晴れ

美形共は4階まで制覇したらしい。乙。

4月27日 晴れ

ついにボス前まで制覇したとか。100レベル……。
アイツらなんだ。もしや噂の勇者一行か。

4月30日 晴れ

ついにボスも倒したらしい。乙。

そういえば、ちよいと勇者について調べてみたら、どうやらあの
「美形共は勇者」説が高まった。

ほんの軽いジョークだったんだが……。

ま、勇者ならはやく魔王とやらを討伐しにこの村からでて行って
ほしいな。おちおち昼寝もできやしねえ。

5月2日 晴れ

ついに村からでていくらしい。やっほう！

……そついや勇者（仮）の荷物（おもに金品）が盗まれたらしい。ほんと、いやな世の中だぜ。

勇者（仮）も村からでたし、しばらくは誰も来そうにないな。

……昼寝でもして過ごすか。

とある道具屋の日記 1 (後書き)

村のイメージとしては、ドラ エなんかでいいかと。
店のイメージも同じく。

道具屋は20代前半男、性格はあまりよろしくない。手癖が悪い。
そんなコンセプトで書いてます。

とある武器屋の独り言 1

1月1日 晴れ

どうやら道具屋が日記をつけることにしたらしい。あのぐうたらな男に日記なんて書けるとは思えないが、まあ、見守ることにした。とりあえず、仕事に書くのはやめろ。暇なのは俺も同じだ。阿呆。

1月5日 晴れ

日記の存在をようやく思いだしたらしい。あいつは本当にダメなやつだ。ったく。

そんなだから恋人の一人二人作れねえんだよ。

1月6日 晴れ

道具屋のやつ、急にニヤニヤし始めたと思ったらこっちを睨みつけてきやがった。なんなんだ一体。喧嘩売ってんなら容赦しねえぞ。ガキ。

1月7日 雨

「雨だから」なんてふざけた理由で店を閉めやがった。アイツは阿呆か。

そういえば、昨日この村に来た旅人が、宿屋で財布を無くしたらしい。

……道具屋のヤツ、昨日の夜、なんだかコソコソしていたような……ま、いいか。俺には関係ない。

1月28日 曇り

道具屋のヤツ、仕事中に寝るなって何度言えばわかるんだ。久々の客がみんな帰ってたぞ。

2月14日 雨

村の女の子から花をもらったらしく、カウンターに飾っていた。城下街では今日、異性に贈り物をする習慣があるらしいので、その影響だろう。

ただ気になったんだが、アロエを送るってのはどうなんだ？ そ
ういうモンなのか？

そりゃあ確かに、近くにたくさん咲いてるけどよ……。

2月28日 晴れ

今日は久々に外の人間が来た。道具屋のヤツも、久々の客にうき
うきとした様子だった。

その子は踊り子をやっているらしく、今夜酒場で踊るとのことな
ので見に行くつもりだ。

道具屋も、二日酔いの薬を大量に倉庫からだしていたので、薬を
売りに行くのだろう。

3月3日 晴れ

道具屋のヤツ、道具の仕入れに行ったのはいいが、臭い。
アイツが襲ってきたんだろう。仕方ないとは思うものの、臭い。
道具屋には悪いが、しばらく近寄るな。

3月5日 晴れ

ようやく臭いがとれたらしく、久々に道具屋の姿を見た。いつもなら引き籠つても無理やりひっぱりだすが、今回はまあ、仕方がないので放置していた。

ただ、道具屋の部屋はまだ臭いので、しばらくは換気が欠かせない。

3月14日 晴れ

今日は2月14日に贈り物をくれた人にお返しをする日らしく、道具屋のヤツもあの女の子にお返しをしたとのこと。

ただ顔に真つ赤な手の跡が残っていたのでわけを聞いてみると、どうやら風邪薬をやったらしい。

まあ、アロエのお返しに風邪薬ってのは間違っていないような気がするが……。

もうちつと女心ってヤツを勉強しろ。

3月25日 曇り

あの日から久々に出てきたと思ったらまた籠り始めた。

この時期は客もいないし、放置することにした。

4月1日 晴れ

一昨日から滞在している旅人が、道具屋が籠っているせいで困っているらしい。

仕方なくひっぱりだしたが、道具屋、おまえ小さく「痔になれ」なんてことを言うのをやめろ。
ぶん殴るぞ。

4月2日 晴れ

道具屋が店を開けたので、旅人の女の子に助かったとお礼を言われた。

そもそも営業日に店を閉めてる道具屋が悪いので、少し困った。ほんと、変な村で悪いな。

4月3日 晴れ

道具屋は一昨日から店を開けているが、いかにも機嫌悪いです。イラがでているので、まだ道具を変えてないらしい。本当にすまん、こんな道具屋で。

4月4日 曇り

道具屋が普段の三割増しで道具を売っていた。あいつ、ほんと陰険だよなあ。

4月5日 曇り

明日ぐらいにも雨が降るかもしれないと道具屋に言われた。

あいつの予感（天気に関り）よくあたるので、鉄なんかの道具を倉庫にしまっておいた。

4月6日 雨

今年一番といえるほどの大雨だ。

この分だと近くにある川は氾濫するだろうから、女子供と老人ははずれにある洞窟へと避難させることにする。

4月10日 曇り

三日降り続いた雨もようやく止み、村に戻ることができた。
これから掃除が大変だ。

4月11日 曇りのち晴れ

道具屋が愚痴愚痴とうるさかった。
雨の影響か？

4月13日 晴れ

あの旅人たちはいつまで滞在するのかと聞かれたので「洞窟を攻略するまでらしい」と教えたら「カモすぎるだろ」と言われた。
否定は、しない。

4月14日 晴れ

旅人たちは地下の攻略をしたらしく、かなりレベルがあがっていた。

この村に来た当初は28程度だったのに、55、6レベルの武器防具を買っていった。

これからは地上の攻略をするらしいので、本当に楽しみだ。
若いつていいな……。

4月15日 晴れ

昨日は懐がかなり暖かくなったので、一晩道具屋と飲み明かした。
ただアイツは薬が空になったと嫌々洞窟へ行くことになったそうだ。

俺もそろそろ、鉱物を取りに鉱山へ出かけようかね。

4月16日 晴れ

道具屋は何故かすぐくへこんでいた。

昨日も今日も一体どうしたんだよ、お前。

4月17日 晴れ

鉱山へ鉱物取り出かけるため、しばらく店を空けることになった。
道具屋がさぼらないか心配だ。

4月21日 曇り

無事に鉱物を手に入れることができた。

道具屋のヤツもさぼらずに仕事をしていたようだし、よかったよ
かった。

ただ、新しい武器防具を作るために工房へ籠ることになった。
また店を空けることになってしまった。店を再開するのは一体い
つになることやら……。

4月26日 晴れ

ようやく武器防具を作り終えた。

これであの旅人相手に商売ができる。

4月27日 晴れ

さっそく旅人が武器と防具を買っていった。

なんと恐ろしいことに100レベルの武器と防具だ。

このままだと、洞窟攻略が成功しちまいそうだ。

4月30日 晴れ

本当に攻略しちまった！ やべえ！

あの洞窟を攻略するなんて、本当にまずい。

くそ、いくら噂の勇者御一行でも無理だとたかをくくっていたらコレだ。

村長と神子、村の重役たちと緊急会議をすることになった。

ああ、ちくしょう、どうしたら……！

5月2日 晴れ

神子が今夜から一週間、神へ舞を捧げることで話がついた。はやく新たな陣をつくらないとな。

そういうわけで、あいつらは今日村から出ていくことになった。道具屋のヤツは何故かすごく喜んでいた。

今日から一週間、大忙しだぜ。まったく、勇者御一行には困ったもんだ。

ま、神子舞の儀式は久々だし、いい機会だったとでも思っておくか。

とある武器屋の独り言 1 (後書き)

道具屋の隣で働いている武器屋の話でした。

武器屋はキャラがあまり掴めてないのでよくぶれます。

最初の設定では、3、40代くらいのごっつい筋肉ダルマのおっさんだったのに、気づけばこんなことに。

てやんでえ口調じゃなくなりました。

そんな武器屋の現在の設定は、道具屋より5つくらい年上・武器屋の武器(防具)は自作・未婚・村の重大そうな秘密を知っている、です。

次の話はまた道具屋の日記に戻ります。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7995m/>

とある道具屋の日記

2010年10月8日12時18分発行